

Q76

真空採血管に使用する採血用ホルダーを患者毎に替えるようにとの通達が出されておりますが、採血用ホルダーはやはり患者毎に替える必要があるのでしょうか？患者毎に替える場合はディスポーザブルとして1回毎に使い捨てで使用すべきなのでしょうか？消毒して再使用することは可能でしょうか？

A

現在の状況では、厚生労働省の通知がすでに示されており、採血用ホルダーはディスポーザブルであり、消毒して再使用することは不可となっております。

この点について、すでに採血ホルダーが汚染されているという報告があり、ホルダーに血液が付着していることは臨床的にもよく見られます。現実的には採血ホルダーを再使用することによって交差感染が起こるためには、血液が針の挿入部位付近に付着し、針を付けるときにゴムスリーブを汚染、さらにこの付着した血液が採血管内の血液に混入、さらに採血中に逆流が起こって患者の体内に入る必要があります。この可能性は通常は極めて稀と考えられ、実際に採血ホルダーの汚染が原因で血液媒介感染が成立した症例の報告はみあたりません。ただし、やはり感染のリスクという観点からは感染の可能性が否定できない限りホルダーの再使用を禁止すべきであるというのが厚生労働省の通達であるかと考えます。

現実の問題としては、採血ホルダーをディスポーザブルにすることで、コストの問題と感染性廃棄物の問題があるため、この通知の遵守率については必ずしも100%とはいいたいがたい状況にあるのではないかと思います。消毒後に再利用するという考え方も確かにあり、その場合はメーカーによる耐久性の保証と消毒しやすい構造になっていることが必要になってきますが、現実的にすべての施設で採血ホルダーを適切に消毒できる可能性は低いと考えられます。つまり、感染のリスクが残ることとなり、コストや手間の問題を考えてみても、消毒後に再利用する利点は少ないと考えられます。

文献

- 1) 厚生労働省：真空採血管の使用に関する厚生労働省通知文，平成15年11月17日発及び平成17年1月4日発

(賀来満夫)